はじめに

大町市は長野県の北西部、

北アルプスの

きません。

大自然に触れない訳

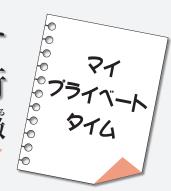
には

るとき、このふるさとの

ふるさと信濃大町に暮らす 北アルプス一番街

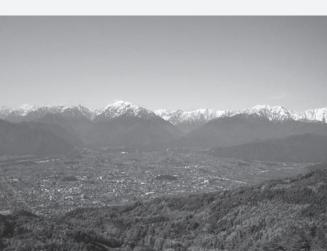
たい かんこし とおる 大町市長(長野県) 牛越 徹

Toru Ushikoshi



電話と の名峰槍ヶ岳をはじめ、日本百名山が4座の名峰槍ヶ岳をはじめ、日本百名山が4座 裏部ダム、立山黒部アルペンルートの玄関 案内者組合が創設されています。現在は、 案内者組合が創設されています。現在は、 ないまた、大正6年には日本初の登山 を力として年間300万人ものお客さまを迎 える国際山岳観光地です。

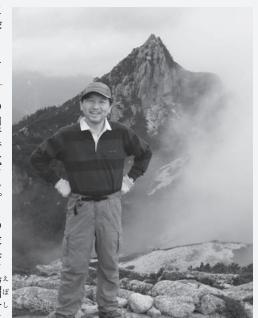
中の若い世代の移住も目立ちます。自分をられており、豊かな自然に惹かれ、子育て槍ヶ岳カクネ里雪渓の氷河の学術調査で知槍ヶ岳カカネ里雪渓の氷河の学術調査で知り、カモシカの飼育研究や、鹿島



市街地越しに見る北アルプスの峰々

見る、 ます。 の秀麗な姿は、 野県庁での勤務を経て10 える絶景です。 をまとった峰々が深紅の朝焼けに染まるモ に日々感動を新たにしてい 前 ゲンロートは、 むほどで、 に帰郷し、大町の美しさ 大学進学で故郷 四季折々のアルプス 特に家の窓から仰ぎ はっと息を 早起きした時にだけ出会 純白 を離 n

6年前 が多く、 蓮華岳で山岳サミットが開催され、の呼び掛けで、市域の境に鎮座す 終わると、私も針ノ木岳の大雪渓を登り詰 えば人恋し 人を想えば山恋し」で歌人と はできませんが、まれに仕事がらみで山に 暇の時間が少ない今は、なかなか登ること 答えます。中学に始まり、 しても知られています。安全祈願の式典が 山祭慎太郎祭は、 行く幸運もあります。毎年6月第1週の開 て就職してからも山に登ってきました。 太郎の名を冠していますが、 こうした環境ですから、周囲には山好き 雪がたっぷり残る春山を楽しみます。 には 私も趣味はと問われれば山登りと お隣の富山市 後立山の開拓者故百瀬慎 の境に鎮座する三俣 森雅志市長さん 高校大学、 翁は 「山を想 3日間 そし



烏帽子岳 (2628m) を背に至福のひと時の筆者

縦走する至福の時を過ごしました。の山行で北アルプスの最奥を烏帽子岳ま

気持良い汗を流す

まっていますが、 慢にもなりません。高校時代に国体に出 ポーツのメッカ信州ではこれしきの腕は自 ろありません。 み1級は取得しました。 どではありませんが、小さいころから親 キーは板を履いて生まれてきた、というほ 道、ソフトボールに勤しんでいます。 日曜土木のほか、 した弓道は、今は年に数回稽古するに留 私は趣味が多い方で、 隣の的を射抜くようなことは今のとこ スポーツではスキー、 幸い袴を逆さまに着けた 読書や日曜大工、 しかし、 冬季ス

チームが盛んに覇を競い合っていて、私も内では地域ごとにリーグが結成され、約40現在一番身近なのはソフトボールで、市

には念を入れてはいますが·・・。 場しています。もちろん試合前の準備運動地区のチームに所属して都合の許す限り出

悦に入っています。また、冬の雪かきも結 見よう見まねでも上手にできた年には一人 んは、 手の世界ジュニア選手権優勝の宇海水稀さ 構な重労働ですが、意外にやりがいのある 山茶花は大町の厳しい冬には勝てそうにな 木の雪囲いに汗を流します。玄関先の椿や 染めていて、毎年暮れも押し迫る一日、 きなようで、家の脇の3坪農園の手入れ バドミントンの世界覇者奥原希望さんや空 考えてみますと、 本市ではさまざまなスポーツが盛んで、 素人ながら藁や縄を使って形を整え、 庭木、山野草などの庭いじりにも手を 将来を嘱望されており市を挙げて応 私は体を動かすのが好 庭



雪囲いに冬が迫る

飾り幕を閉じることができました。ジャン

良いのかもしれません。 激務でストレスが大変でしょうとよく言わ かりの跡が目に見えるからです。毎日の

長野オリンピックの思い出

との精密な予報システムを信じて第1ラウ 天候で、気象条件だけはどうにもなりませ でした。厳冬期の屋外競技で最大の課題は 整えており、残るのは本番の危機管理だけ ドカップなどで競技や会場の運営は準備を とができません。大会の前々年からワール めた白馬ジャンプ会場の日々は、忘れるこ 98長野冬季オリンピック組織委員会に勤務 船木選手の見事なジャンプで日本が優勝を に競技を進め、 れる中で2本目を開始。中断を余儀なくさ はこの時点でなんと4位。天候の回復が遅 ンドを強行したものの、最強の日本チーム る天候の下で、10時すぎに小康状態になる 渡りの試練となりました。刻一刻と変化す おき5回の競技の中、唯一猛吹雪となり綱 会場の運営は極度の緊張を強いられました。 17万9000人もの観客を迎えたジャンプ ん。その上、冬の大会では国内最大となる した6年半の経験で、特に会場責任者を務 特に2月17日のジャンプ団体戦は、一日 これまでの人生で最も印象に残るのは、 テストジャンプを繰返し挟みつつ果敢 ようやく12時すぎ、

マイイベントです。片付けた後が形となっ

が求められたのです。
プ競技では番狂わせは許されず、力のある

今でも長野オリンピックが話題になるとたちが抱き合って喜ぶ感動の姿が映し出さたちが抱き合って喜ぶ感動の姿が映し出されます。冬季オリンピックを飾る歴史の現場に立会い、苦楽を共にした1000人を超える競技役員や運営スタッフ、ボランティアの皆さんは生涯忘れえぬ仲間です。「一、昔のことを想えば人を思い出し、人をに、昔のことを想えば人を思い出し、人をに、昔のことを想えば人を思い出し、人でに、一つことを想えば人を思い出し、人でに、一つに向かって生きる私たちにとって元気の源だと思うのです。



ジャンプ会場の仲間たちと(五輪旗の中央付近に筆者)